

河内の散策(91)

八幡神社跡

今回は、河内小学校の大イチョウ近くにあった八幡神社跡を紹介します。

八幡神社の御祭神は、**帯中津日子命**、**ほんだわけのみこと**、**おきながたらしひめのみこと**、**品陀和気命**、**息長帯日売命**で、源氏が崇敬した日本の守護の神と学問・文化・産業・生活等すべてを守護する神様、そして、勝負の神様です。

上河内村の氏神として村人から崇拝され、お祭りが執り行われていました。明治七年の台帳に正殿二間×二間、幣殿二間×二間、拝殿二間半×二間、神輿殿二間半×二間、氏子数二百戸と記載されています。享保六年(1721年)に社殿を再建したときの棟札が残っています。



八幡神社は明治四十年(1907年)に、国の指導により合祀・統合され、河内地区の氏神社・産土神社として「河内神社」と改称されました。

河内小学校に、イチョウの大木があるのは、イチョウの葉は、燃えにくく耐火用として、八幡神社を火災から守るためのものであったことや松の巨木もあつたことを河内小学校の児童の皆さんにも知っていただければと思っています。グラウンドの拡張等で地形は大きく変わっていますが、立ち寄って古を偲ばれることをお勧めします。

文責 杉田 精司

白川発

健康体操で温泉めぐり

師走の7日、三和包括支援センターの支援により、10年ぶりに白川集会所に於いて健康体操を行いました。27世帯のうち大半の方が参加され、集会所が狭く感じられました。

健康運動指導者の久保恵先生の愉快な話術のもと、手をさすり、体をさすり、20分間体を温めてのスタートでした。日頃の畑仕事や草刈りなどの重労働の体を労り、足をばし、筋肉を伸ばし、関節を伸ばし、次は肩甲骨の運動、首の周りのリンパ節のマッサージなど、心地のよいものでした。

草津温泉や道後温泉等の音頭に乗り、草津よいとこ一度はおいでアドッコイショと唄いながら、約30人のおみなさんの笑い声が飛び交うあつという間の時間でした。

前回は集会所で体操をしていると、窓から猿が



右手に大根、左手に大根、口にも大根を銜えている姿が見え慌てましたが、今回は猿も控えてくれ、体操に専念することができました。

文責 M・Y

健康

インフルエンザウイルス検査は、発症して12時間程度経過し、ウイルスの数が増えた後に検査するのが最適だといわれています。

また、平成28年第49週(12月5日から12月11日まで)分のインフルエンザの発生状況は、前週と同じ「流行の開始の目安」レベルですが、やや増加しており、インフルエンザウイルスの検出ではA型の検出割合が高いですがB型も出ています。

元旦マラソンで歩きませんか？

今年も元旦7時半、小学校グランド受付、河内神社参拝後、8時半より順次スタートで、元旦マラソンが行われます。

今年も、新種目の「健康ウォーキング」が加わりました。走るのほはちよつと...という人も、1年の始まりの陽ざしを浴びながら、15分を歩いてみませんか？参加賞もあります。

体協では、今年がウォーキングを推進していきます。公民館にて「ウォーキングの講習会」を行い、皆さんで正しい歩き方を勉強する予定です。おたのしみに！元旦マラソン(健康ウォーキング)の申込みは、現地にて当日受付です。

寄付のお礼



魚切町内会の住佐正法様より香典返礼としてご寄付を頂きました。

誠にありがとうございました。社協活動に役立たせて頂きます。

私の思い

「園長先生、お芋焼いてくれて、ありがとう。ここで一緒に食べよう。」これは焼き芋パーティーでの子どもたちからの言葉です。

河内保育園では、いつも自然と『ありがとう』の言葉が子どもたちからあふれてきて、嬉しい毎日を過ごしています。心からの『ありがとう』で、ぽかぽかと温かい気持ちになり、「よし、次からもがんばろう」と意欲がわいてきます。まるで魔法にかかったようです。

この子どもたちの優しさはどこからきているんだろう...と考えた時にすぐに思い浮かんだのは、地域の方々の見守りの力です。運動会や発表会、もちつきや昔のあそびでの触れ合いなど、いつも子どもたちに温かく接していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

「子どもは育てられたように育つ」と言われますが、まわりの大人の姿が子どもたちの思いやりの心を育て、心からの『ありがとう』につながっていることを実感しています。

また、子どもたちの姿からも学ぶことが多く、私もまわりの人への感謝の気持ちを素直に表せる人になりたいと思います。

河内保育園

吉田 康枝